

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 1 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	定期的に利用者、家族、市職員、社協、包括支援センター、地域住民、区長を交え、ホームの現状や問題点や困り事などを報告相談し、運営に反映させているが、参加者以外の家族への報告が十分でなく推進会議自体を理解していただけない状態である。遠方の家族は致し方ないことであるが、いつも同じ家族の参加になっていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議を理解していただく。 ・多くの家族に桜の園を理解してもらい、意見を出してもらえる場を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の当日参加者のみならず、欠席者や全利用者家族へ会議録を送付する。 ・推進会議とはどういうものか、内容説明文を作成し、家族へ送付する。 ・推進会議開催文書を全家族へ送付する。 	2ヶ月
2	23	現在のアセスメントシートは身体的な記述が中心になっており、日々の利用者の精神的な側面について、気づきはあっても全職員が共有できる機会が少ないために理解されていないことがある。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いや要望や気づきなど、全職員が把握できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録を見直し、身体面・精神面と項目を分け、別々に記入する。 ・学習療法時や日々の業務の中など、日々の気づきで得た精神面の観察記録を行う。 	2ヶ月
3	35	災害訓練は定期的に行っていたが、実際の災害になった場合に必要な物資が準備されておらず、提案書は作成され申請されていたが購入出来ない状態であった。 訓練時には職員と入居者、消防職員の訓練となっており、地域の中のホームであることから地域住民の参加は必要であったが、呼びかけもしておらず、参加もされていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に入居者、職員に生命を守る必要な物資を準備する。 ・地域住民、家族の協力参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上層部へ提案書に沿って物資の購入を再度お願いし、発注した。 ・推進会議を通じ、構成メンバーや家族へ呼びかけ、参加をお願いする。 	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。